

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成31年3月29日

越前市議会

議長 川崎 悟 司 様

議員氏名 前 田 一 博



下記のとおり報告します。

日 程 平成31年2月7日（木）～8日（金）

活動先 静岡県足柄上郡大井町

活動目的 官民型の複合施設の視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

別添のとおり

誠和会 行政視察報告書

行先 静岡県足柄上郡大井町
日付 2月7日(木)～2月8日(金)
視察目的 官民型の複合施設

今回、(仮称)南越駅周辺の活性化目的で、会派3人で「未病(みびょう) バレービオトピア」に視察に行きました。

この施設は、神奈川県が策定した「県西地域活性化プロジェクト」に基づき、神奈川県大井町および株式会社ブルックスホールディングスの三者が協定し進めてきた大型施設です。株式会社ブルックスホールディングスは、神奈川県、大井町との連携で「未病」についての取り組みを発信する大型施設の整備、運営を推進しています。

また、県西地域を「未病の戦略的エリア」として、全国、世界に向けてアピールしている。

昭和40年企業団地(第一生命)を平成24年にブルックスが65haの土地と建物を購入。平成28年に神奈川県へブルックスと大井町が共同提案したテーマを提出しその後平成30年4月に第一期の施設が出来上がった。

第一期では未病エキスポプラザ(県が経営)、ビオトピアオフィス、ビオトピアマルシェ(売店、レストラン等)フィールド(サッカー場2面、野球場1面)森の学校を整備。今後第2期、大3期で温泉施設、宿泊施設を整備していく。

アクセスは、東海道新幹線小田原駅から小田急小田原線に乗り換え新松田駅まで15分バスやタクシーに乗り換えて約10分で目的地に着けます。また、東名高速道路大井松田インターチェンジも近くにあり、アクセスは整っている。

オープンして11か月で45万人を突破している(目標は20万人だった)

(仮称)南越駅周辺は、北陸自動車道、国道8号線、北陸新幹線と高速網が将来整備され、新たなまちづくりが期待されている。本市の食の文化伝統文化、近隣2市3町と連携をし、地域の魅力をつなげて一つの大きな魅力を創り出すことのできるプロジェクトが必要と考える。(大井町のような「未病改善」)

日本海側にない施設が是非必要である。

丹南地域において、未病を改善し、住む人や訪れる人の健康長寿を実現するとともに、未病を改善する様々な地域の魅力をつなげて産業力、労働力を高め、自然と命、世代が循環する地域づくりを進めることで、地域経済の活性化を図ることができると考える。

丹南2市3町と連携し、協議会を発足すべきである。訪れる県外からの観光客に滞在型のプランを考案し経済効果を生む戦略が必要となる。県外（特に東京等の大都会）の投資家と協働し、魅力あふれる駅周辺構想が必要であると再確認した。

現在進んでいる、地元沿線（新幹線）の町内代表で構成されているまちづくり協議会、専門家等が参加している策定委員会で駅周辺の構想が進んでいくが、この（仮称）南越駅周辺をどのように活性化していくが将来の越前市の存亡にかかっている。

今回の視察で得たことを会派として提案していきます。